

“老いと向き合う”インテリアに反映

高齢者「安心」の

新住宅ブランド

焼津・橋本組

橋本組(焼津市本町)は新たな住宅ブランド「はしもの家」を立ち上げた。「老いと向き合う」をコンセプトに、高齢者が安心して過ごせるような工夫をインテリアに施した。本社近くに宿泊できるモデルハウスを設置。実際に過ごすことでコンセプトを理解してもらい、注文につなげていく。予約を受け付けている。



①宿泊可能な「はしもの家」モデルハウス
②間接照明で穏やかな雰囲気
が広がる室内(焼津市内)

開設 宿泊可能 モデルハウス

予約を受け付けているモデルハウスは平屋建てで、ヒノキやスギといった木材をふんだんに使用し、寝室や書斎、ロフト、キッチンを備えている。新ブランド住宅にはプロジエクトの中核を担った伊藤孝紀・名古屋工業大学大学院准教授が提唱する「老いに抱くマインド」をイメージを変えたい」という考えが反映されている。部屋の周囲に張り巡らせた手すりには「『かわいい』要素を入れた」と伊藤准教授という考えを元に、周囲と調和し、インテリアの一部として溶け込むようなデザインに仕上げた。

日中明るいところで過ごせるように、季節に応じてまんべんなく太陽光が室内に入るような設計にしている。夜は明るすぎないように、必要な箇所に間接照明を取り入れた。

高齢者の死亡事故は自宅で発生するケースが多いというデータから、「安心」も重視している。椅子やテーブルなどのインテリアには、立ったり座ったりする時につかまりやすい工夫を施した。橋本真典社長は「老いと向き合う」という考え方を提案したい」と話す。

(焼津支局・福田雄一)

鹿児島に食肉処理施設

伊藤ハム米久HD 海外市場を強化

伊藤ハム米久ホールディングス(HD)は2023年4月、鹿児島県に牛肉と豚肉の処理施設(仮称・大口ミートプラント)を開設する。アジアと欧米を中心に、「和牛」人気が高まっている海外への輸出量を増やす。

グループ会社のサンキョーミート(同県)が伊佐市にある既存工場の設備を借り受け、新事業所として活用する。年間生産(処理)能力は年1万2千頭、豚が41万2千頭。雇用人数は現時点で「未定」としている。同社は現在、畜産が盛んな鹿児島と宮崎県に計3カ所の処理施設を持つてい

る。新施設の稼働で処理頭数は牛肉約3割、豚肉は約2割それぞれ増加する。海外では日本食ブームなどに伴い、高品質でおいしい日本産食肉の需要が高まっている。

(東部総局・杉山諭)

M&A強化

専用サイト新設

鉄管工事などを手がける影山鉄工所(沼津市、影山彰久社長)は、企業合併・買収(M&A)を強化している。この2年で県内外の3社を手がけ、4社目を視野に入れる。10月には専用サ

イトを新たに設け、M&Aを加速させる。同社の主力である製造業の成長と新事業への投資などを目的に2020年にM&Aを開始。今後はイベント参加や体験機会の創出といった地域貢献を中心とした3社のM&Aの効果発信し、グループへの加入を呼び込

4社目を視野

3社はいずれも地域の製造業で、創業・設立から60、70年が経過。人材確保や後継者、収益減などの課題を抱えていた。事業領域の異なる3社に対し、ITと人事、広報を柱に改革を進める。

影山鉄工所の山本明弘HR・ブランドینگ部課長は「グループのノウハウを生かし、次世代の人材育成や製造業の地位向上にもつなげたい」と話す。

川根茶農家と
交流イベント
17、18日

茶況

島田市の「KADODÉ OOLIGAWA」は同館の茶寮で17、18日に開催する川根茶生産者との交流イベント「結び」の参加者を募集している。

川根茶と葉で1人1500円で11、1500円で11、各日午前10、2、3、4時所要時間は約15分程度で、回5人程度で、547(59)。(島田支局)



イチゴの品質をPRした静岡いちご娘の3人(13日午前、県庁)

イチゴ出来栄「娘」たちがPR

県いちご協議会(事務局・JA静岡経済連)は11日、県庁に川勝平太知事を訪ね、今期のイチゴの出来栄を披露し、消費拡大への意欲を語った。県内産イチゴをPRする「静岡いちご娘」の3人が

ら、本県の主力品種「紅ほっぺ」と「きりびき」を受け取った川勝知事は「最高級の逸品。各地への販売が期待できる」と語った。同協議会の飯田寿夫会長によると、冬場にピークを迎えるイチゴの生育は良好。国内での販路開拓や海外輸出などを通じ、消費拡大を進める。

うなぎパイ「缶入り」復活 22日発売

浜松華かるたとセット

菓子メーカーの春華堂(浜松市中区)は22日、缶入りのうなぎパイ「うなぎパイ缶48本入り」と、地元浜松にちなんだ「うなぎパイ」をセットにして発売する。うなぎパイは箱詰めや袋入りで主流だが、17年前までは缶入りも販売していた。担当者は「年末年始の帰省やお祝いの際に家族でかきたるを囲みながら、浜松について語り合っただけ」と話す。

春華堂「帰省のお供に」



①春華堂が発売する「うなぎパイ缶」のセット販売する浜松華かるた

小見山

米のおいしさを19回お米日本いしずおか(主催)の最終集金に、県内15人の審査員が最終審査会場

経済しずおか